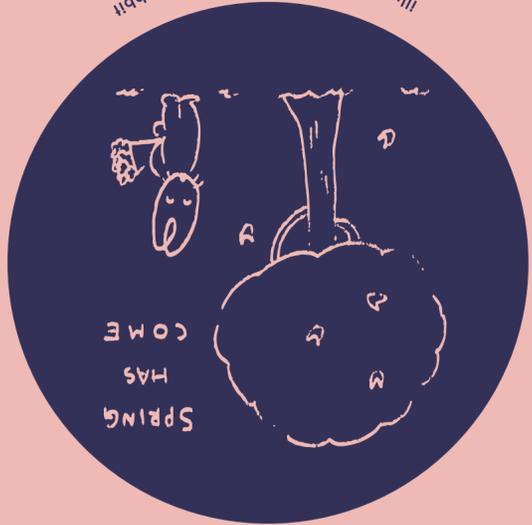


Illustration by morii / Spring Rabbit



SPRING HAS COME

# 19MAGAZINE

19UNLIMITED PRESENTS

Vol.51 / 19th MAR 2023

Please read on !

<今月の表紙>  
温かい春の陽気と共に、出会いと別れの季節がやってきました。  
新しい門出に立つ人に、温かい気持ちと大きな花束を。

IF YOU WANNA BE UNLIMITED, YOU SHOULD READ THIS !

TEL 019-601-6619  
FAX 019-601-6719  
SITE 19unltd.co.jp



SHUNTARO AOKI

一級建築士 青木俊太郎の建築の知識が豊かになるコラム

## 旅と僕と名建築



「道の駅たのはた」岩手県田野畑村(2021年オープン)



今回紹介する建物は岩手県下閉伊郡田野畑村にある「道の駅たのはた」。2021年3月に竣工した建物で、三陸沿岸道路の田野畑中央ICから降りてすぐの場所にあり。周囲の山の斜面を彷彿とさせるような大屋根デザインで、そのダイナミックさが自然豊かな岩手の広大さを表現しているように感じました。一番インパクトがあったのは木の架構です。構造体がそのままデザインになっており、小手先では表現できない構造設計ならではのデザイン力を感じました。天井が高いことに加え、南向きにハイサイドライト窓を横一列に流すことで、透明な壁面ガラスから見える景色だけでなく天井からも青空が見えます。高地ならではの解放感がありました。一方で、東西面に面する大開口部の外

壁材には乳白色のポリカーボネート板を採用していました。ポリカーボネート板は軽く、強度があるのが特徴です。内部構成に空気層があるため断熱性能も高く、乳白色にすることで西日などの強い光を拡散して柔らかい光に変えて内部に取り入れることができます。様々な機能を兼ね備えている外壁でした。寒冷地である岩手ならではの材の選定がされており、意匠性だけでなく機能性も意識して設計された名建築でした。

### 旅のおしえ ~もうひとつの名建築~

すぐ近くには使用されていない学生寮があります。海外の近代モダニズム建築を彷彿させる立体造形で、その神秘さと腐蝕の雰囲気と異様な空気を作り上げていました。



SHIHO KAKISAWA

空間プランナー 柿澤志保が至極のインテリアを紹介するコラム

## わたしが選ぶインテリア



今月は「アンティークガラス瓶」

ガラスの厚みや色合い、ゆらぎ、ちいさな気泡など古いガラスの質感の美しさは唯一無二。日頃から探しておくとうれしいです。



春分の日には「自然をたたえ、生物をいつくしむ」国民の祝日。自然のあらゆる生命が若たく盛り上がる時をいつくしむ日は粋な計らいです。今月は大地のエネルギーを少しだけお裾分けしてもらい、春の芽吹きを楽しむインテリアをご紹介します。ガラスのゆらめきや質感が美しいアンティークの瓶はラフに飾れてとても便利。口が広い大きなガラス瓶は大

ぶりな枝をスタイリッシュに飾る時に重宝します。背丈がある枝は瓶のサイズ以上に長さを残すと躍動感あふれる雰囲気。ラベルがアクセントの薬瓶は口が狭いので、華奢な枝や切花の1輪を飾るのに気軽に楽しめます。花瓶を選ぶのに迷ってしまう方にはとくにおすすめ。桜の蕾が段々と膨らむ様子を日々眺めるのも切り枝の楽しみのひとつです。

DAWEI LI

営業 李大偉がスムーズな建設プロジェクト方法を紹介します

## プロジェクトマネジメントのコツ



Vol.15 建築資材が高騰している理由3・4

### 3.円安による輸入価格上昇

2022年9月7日に1ドル=144.5円を記録しました。これは1998年8月以来約24年ぶりの円安水準です。日本は建築資材の原材料の多くを海外輸入に頼っています。そのため、原材料の価格が変わらなくても、円安が進むとその分輸入価格が上昇してまいります。

### 4.ロシア・ウクライナ情勢の燃料高騰

ロシアは世界全体で見ても、天然ガスや石油といったエネルギー資源の産出量が多い資源大国です。経済制裁の影響でエネルギー資源が値上がりし、各方面へ大きな影響が続いています。燃料が高騰すると輸送費が上がるため、ほぼすべての建築資材に影響が出てまいります。



「トップファクトリー」サイトはこちら

LIA HIYAMA

デザイナー トイレ研究家・日山莉愛のトイレデザインレポート

## トイレデザイン日記



コンクリートと木目調の素材でまとめられた落ち着いた感じのある外観



ルーバーがある通路



天井の開口部

今回は観光地の神奈川県鎌倉市にある長谷寺の公衆トイレをご紹介します。鎌倉の観光名所の1つということもあり、外観デザインは落ち着いた木目調の素材とコンクリートでまとめられています。通路に取り付けられたルーバーの隙間からは人の存在が感じられ、閉鎖的になりすぎない動線を作り出していました。訪れた時間帯は夕方だったので、ルーバーの隙間から夕陽が差し込み、木目調の壁面に映し出されていた光景がとても綺麗でした。トイレ内は天井に取り付けられた開口部によって自然光を取り入れていた

ので明るく開放感がありました。屋外の公衆トイレは閉鎖的で暗く、ジメジメとした雰囲気、使いづらいというイメージを持たれがちです。利用者の多い観光地のトイレはこのように外とのつながりがあり、抜け感があると安心して利用しやすいと感じました。照明は間接照明にし、ロッカーは壁面に合わせてフラットに収め、建物全体と凹凸が出ないように設計されています。建物がスッキリと見え、無駄な凹凸がない分、衛生的にも管理がしやすいのではないかと思います。収まりが綺麗だと少し錆びているロッカーも良い味になると感じました。

長谷寺 〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3丁目1-2 営業時間/8:00~17:00

長谷寺の眺望散策路には2,500株を超える色とりどりの紫陽花が植えられています。あじさい路上段からは、由比ヶ浜の海と紫陽花をツーショットで眺めることもできます。



Follow Me / トイレ研究家・日山莉愛 Instagramはこちら



AYANA MORI

グラフィックデザイナー 森居綾那のリアルタイム子育て絵日記

## おかーさんにっき



これ!! おすすめ

## 私が紹介したいオススメの一品

ホットヨガ(高温多湿に保たれた空間で行うヨガ)

柿澤志保



ホットヨガにハマる理由のひとつは大量の発汗!「こりゃなんの修行だ?」とへこたれそうになりながらも、滝のように流れる汗が充足感と爽快感でいっぱいになります。



血流が全身をめぐり、心も整うホットヨガおすすめです!

## < ジュークの最新ニュースはこちら >

NEWS

スタッフ青木登壇@宮古セミナー

3/4に宮古に生きる『20代のための』つながるイベント「Meet up! Miyako」にて『20代何を考えて生きてきたか』『最年少一級建築士を取得した背景にはどんな想いがあったのか』などお話しさせていただきました。



NEWS

たかしん興業様@花巻 企業視察で来社

3/1に岩手県花巻市の建設業たかしん興業様からICT推進室の2名が企業視察にいらっしました。代表加藤より、経営者と2人3脚で思いを見える化するコツなどをアドバイスさせていただきました。



←たかしん興業様のブログです!

NEWS

協和化工様 工場建替プロジェクト始動

排水処理装置を製造する協和化工様@東京の埼玉工場建替プロジェクトが本格始動。操業しながら建替を行う3年に渡る大型プロジェクトです。今後社内報のON-GOINGコーナーでもご紹介するので楽しみに!



INFORMATIONS ●5/10シンコーメタリコン様新工場オープニングイベント@滋賀 ●6/23ベンチマーク視察団@埼玉・深谷 ●6/21-23日本ものづくりワールド出展@東京ビックサイト ●今春 トップファクトリーサイトリニューアル

## ブランディングに役立つ本と映画を紹介

ジュークおすすめ! BOOK

SPRINT 最速仕事術

ジエイク・ナツ、ジョン・セラツキ、フレイザン・コウイツ(著) 2017年 タイヤモンド社



トップ記事にかけて本書をご紹介します。完成度7割でいいから、展示会のように市場にぶつけながらサービスを作り上げる。中小企業はスピードが命です。トライアンドエラーを繰り返しながら作り上げていけば良いと本書は言います。名だたる企業を取り入れている「SPRINT」という手法を事例を交えながら学ぶことができる1冊。

ジュークおすすめ! MOVIE

インターンシップ

2013年 アメリカ 監督: ショーン・レヴィ



ブランディング事例でよく活用しているGoogle本社で撮影された本作。失業したおじさん(しかもIT音痴)がGoogleにインターンとして入り、正社員を目指すストーリー。新しい働き方、IT、世代などカルチャーショックを乗り越え、昭和⇄令和を生きる日本の皆さんにもぜひ見てもらいたい1本! アマプラで鑑賞可能。

# 新サービス「見積Dr.」 展示会でお披露目

ドクター



ブランドカラーの紫色のブースデザイン（お金の話をする法人向けサービスなのでユニフォームはカチッとスーツで）

昨年末からテストマーケティングしていたジュークの新ブランド「見積Dr.」。見積Dr.はお施主様と建設会社の間に入り、工場や事務所建設のコストダウンをお手伝いするサービスです。2/7~9に東京ビッグサイトで開催された経営者向け展示会「経営支援EXPO」に出展し、全国デビューを果たしました。

私たちはコストダウンに成功した建設事例があります。構造を見直して-2億円に成功した倉庫。地元でお付き合いのある建設会社に指定した結果予算オーバーで、しがらみを捨てて他の会社にも依頼したところ-3千万円のコストダウンに成功した倉庫。これらは私たちが建設会社出身であり、設計事務所でもあるからこそ見出したコストダウン打開策です。見積Dr.ではコストダウン策を見つけ出し、建設会社との間で価格調整を行います。

## 見積Dr.が生まれた背景

ジュークでは工場建設ブランド「トップファクトリー」を運営しており、よく聞かれるのは『いくらで建てられますか?』という建設費のこと。建設プロジェクトが進んでいる場合は「この見積りは高い?安い?いくらが妥当ですか?」というご相談を受けることもあります。つまり、お施主様は“お金”に関する疑問・不安が常にある状態ということ。しかし、建築工事費というのは建物の大きさだけでなく、エリア、用途、土地の条件や状態、設備の種類、時期、建設会社の性質や状況、時代、経済状況などの多くのことが複雑に絡み合って決まるもの。プロジェクトの概要、背景を熟知し、分析できていないと金額の話はできません

## 展示会で反応を体感する

展示会の良いところは、生の市場の反応を感じられることです。全国から人が集まる展示会ではサービスを知らない人にアプローチができ、営業獲得のみならず多くの意見を聞くことができます。反響から得られる改善点も数多くあります。サービスブランドは作り込みに時間を割くのではなく、7割の完成度で市場におすすめて。システムやソフトウェア開発では一般的な「アジャイル(素早い)開発」をサービスブランドにも採用していきましょう。

## 予想ターゲットと異なる反響

見積Dr.は経営者向けのサービス。そこでお披露目の展示会に選んだのは経営者が集まる「経営支援EXPO」。ターゲットの経営者が足を運んでくれた一方で、大企業の施設管理者もブースに足を止めてくれました。展示会に出たからこそその意外な反響や新しい発見がありました。

## 研修効果も高い展示会出席

展示会出席は営業目的だけでなく、関わるスタッフが大きく成長するチャンスでもあります。運営側とのやり取り、社内情報共有、ブースデザイン、販促グッズ、お金の管理、営業など日常業務では味わえないポイントがいくつもあります。今回の展示会は1年生の日山さんが責任者として企画を取り仕切りました。ブース案を3Dにして社内会議で発表し、皆に意見を求めるなど設計士ならではのアプローチも！3日間ブースに立ち展示会デビューは疲労感もあったようですが、同時に達成感もあったようです。またひとつ成長し、頼もしくなりました。次回は6月に展示会出席を予定しています。今後の見積Dr.の展開をお楽しみに！



多くの方に足を運んで頂きました



一際目をひくアイコンはスタッフ宇本人



ブランディング仲間も続々ブース訪問

## ON-GOING PROJECTS

進行中プロジェクトをチラ見せ

No.15

シンコーメタリコン株式会社  
新工場ついに完成！@滋賀  
「未来にツナグNEXT50」プロジェクト  
オープンファクトリー第一号ついに完成！



イエロー×ブラック 配色の映える工場



工場内のサイン（創業者のアイコン）

滋賀県湖南市で金属の溶射施工を行う  
金属加工業「シンコーメタリコン」

## 10ヶ月の工期を経て新工場完成

2022年7月に着工し、今月いよいよ新工場が完成します。工場見学者が多いシンコーメタリコン様にふさわしい仕上がりでトップファクトリーが提案する“魅せる工場”になります。

## イエロー×ブラックの配色

シンコーメタリコン株式会社の立石社長様は芸術系の大学をご卒業されており、新工場のデザインや配色にこだわりを持たれていました。企画当初はフランス特有の配色を用いて欲しい、とのご要望でフランス絵画やお菓子のマカロンのような柔らかな配色を検討しました。何度もデザイン案を作成し、ご提案してみるも…“らしさ”が見えてこず。そこで、工場の特性や機能に立ち返り、これまでとは真逆の明度の差が激しい2色パターンをいくつか提案しました。その中で、工場＝安全第一が伝わり、工場のインダストリアルなかつこよさも表現できるイ

エロー&ブラックの配色に決定しました。(トップファクトリーのブランドカラーと同じ！大変恐縮です。)

## サインデザインのこだわり

今回、特に力を入れたのは工場内のサインです。グラフィックデザイナー森居が担当し、設計士とタッグを組んで図面やパースにサインを落とし込み提案。お客様の心を掴むことができました。工場内の各部屋名のサインを壁全面に映し出したデザインウォールになっているので、ぜひご注目ください！

## 特大ロゴのフォトスポット

工場見学に来られたお客様が記念写真を撮れる場所として、工場正面の外壁に社名ロゴマークを大きくあしらいました。その大きさはなんと6m x5mの巨大サイズ！大勢での撮影も収まるサイズ感になっています。工場見学に行かれた際はぜひここで写真撮影してみてください。

## No.15 加藤の社長ブログ

Design Executive Officer

# DEO NOTE



インハウス部門の作り方を体験からお話します

## インハウスイノベーション部門の評価の仕方 -スキルマップで業務を分解

3人体制になった頃、部下の指導と評価に役立ったのは全社的に取り組んでいた「スキルマップ」でした。「何年で1人前か?1年間でどこまでできるようになりましょう。そのために必要な教材はこれ。」といった具合にスキル分解と成長目標を見える化したものです。少人数でやるならずっとOJTでいいのですが、200人を超える組織にいたので会社には「評価基準」がありました。なんとなく頑張ったね、では評価できませんし、役員が理解できません。

活用しきれていない部署もあったようですが、私の部署ではこのスキルマップをフル活用。業務が多岐に渡るので大項目は「社会性(全社共有)・デザイン・ブランディング・広報・マーケティング」の5つ。例えば、デザインは初年度は「チラシをイラストレーターで模写できるようになる」とか、住宅やノバージョンの見学会販促が多いため「地図を作ることができる」など。それを半期に1回自己採点してもらい、私が採点しフィードバック。そうすることでデザインという目に見えないスキルを分解し、課題と目標を共有しました。

## -賞に挑戦して第三者評価をゲット

1人から4人体制にまでなったコーポレートブランニング室。多岐に渡り4人で活動した結果、手がけたブランドがヒットしたり、新しい建設業として視察が増えたり、採用も順調で対外的評価は上がりました。が、社内から「あの部署何やってるの?」という声もありました。社内報や全社員会議で活動報告をしていましたが本社と現場、支店の物理的距離は心的距離でもありません。なかなか存在意義が伝わっていないことも薄々気が付いていました。

そこで「わかりやすい何か」が欲しい。そう思ったのと、今のデザインの実力がどんなものか?を知りたく、グッドデザイン賞に応募することにしました。(気になる記事の続きは下記QRコードから!)

note

上記ブログ続きは右記QRコードからnoteで読めます →→→

